

武雄の蘭学を再発見し、津山の蘭学に触れよう！

津山 × 武雄交流展 蘭学の競演

江戸時代後期から明治初期に医学の面から蘭学研究を進展させ、日本の近代化に貢献した津山の蘭学者たち。その蘭学資料を見学できる初の展示会を開催します。

また武雄の蘭学研究をリードした、鍋島茂義が収集した膨大な蘭学資料も同時に展示！
遠く離れた武雄と津山の間、当時の蘭学を通じた結びつきに思いを馳せてみませんか？

日時

11月16日(土)～12月15日(日) (期間中は無休)

※開館時間は日～木曜は9:00～18:00、金・土曜は9:00～21:00

場所

武雄市図書館・歴史資料館 蘭学・企画展示室

観覧料

無料

見どころ①

**当時の最先端！
津山の蘭学資料が
武雄に初上陸！**

医学書を始め、宇田川榕菴自筆の植物の絵や、吉田松陰など幕末の志士たちに影響を与えた世界地図など、どれも武雄で初公開の資料ばかりです。

見どころ②

**特別講演開催！
津山の蘭学がわかると、
武雄の蘭学がもっと面白くなる！**

津山の蘭学に詳しい専門家の方に、今回の展示会についての講演をおこなってまいります。

日時／12月1日(日)14時～

場所／武雄市図書館・歴史資料館 シェアルーム

講演者／下山 純正 先生(元津山洋学資料館長)

定員／50人程度(事前申し込みなし)

見どころ③

**武雄と津山が誇る
偉大な3人の蘭学者、
同世代の一級資料が“競演”！**

鍋島茂義と宇田川榕菴、箕作阮甫の3人は、それぞれ1歳違いの同世代。広く西洋の科学技術に興味をもった彼らの、バラエティに富んだ資料の数々は、日本の近代化に大きな影響を与えました。

今回の企画展は、
武雄の蘭学の資料を
改めて見学できるだけでなく、
同じ蘭学を研究しながら
武雄とは異なる発展を遂げた
津山の蘭学に触れられる、
またとない機会です。ぜひご覧ください！

